

東京開業ワンストップセンターは、会社設立に必要な各種手続きにワンストップで対応する相談窓口です。国と東京都が共同で運営し、赤坂のほか渋谷・丸の内にもサテライトセンターを設けています。今回は、出産後ままたまらない現実に直面したことをきっかけに起業を考えることとなった、市口友子さんにお話を伺いました。

利用者 リレーインタビュー ……………



子連れでもOKな“学びの場”がないなら、自分でつくってしまおう

独身時代はもちろん、結婚してからも自分の時間を自由に使い、遊んだり興味のあることを学んだり楽しく生活をしていました。ところが、出産を機にそんな生活が一転、何事も子ども中心の生活になりました。それはいいんです。親の責任として育児に時間を費やすのは。ただ、協力者の少ない環境での育児と仕事の毎日のなかで、さまざまなことがスムーズに進まず息苦しさを感じるようになっていったんです。仕事のみならず、何か学びたいと思っても——私の場合、英会話だったのですが——子どもを連れて行けない、シッターさんもすぐには見つからないといった現実に直面し、「これはやはりおかしい！」との想いを強くしていきました。

この現実を何とかできないものかと思案を重ねたのですが、どうにもいい考えが浮かばない。ならば「自分でつくろう！」と単純に思い立ったのが起業のきっかけでした。

最初から会社設立を考えていたわけではなく、センターに背中を押されたようなものです

とはいえ、最初から会社を設立しようと考えていたわけじゃないんです。やるからには持続できるものにしたい。そのためにはビジネスとして成り立たせることが必要です。となれば、会社を立ち上げたほうがいいのか、と何となく考えていたに過ぎません。そもそも会社を設立する手続きの知識などありませんでしたし、「きっと面倒なんだろうな」と思い込み、二の足を踏んでいました。

そんなある日、会社の設立法についてネット検索していたら「東京開業ワンストップセンター」にヒットしたんです。「偵察がてら(笑)、とりあえず相談してみよう」と最初に訪れたのが、今年の3月上旬のことです。



株式会社ワークショップラボ 代表取締役 市口友子さん
プロフィール／テンブル大学、早稲田大学卒業後、財団法人や民間会社の経理職として長年にわたり勤務。結婚・出産後も共働きを続けるが、育児をしながら“学べる場”が極端に少ないことを痛感。育児中の方や自分の居場所にじっくりこないもの学んでみたいという方たちの“場”を自らつくるために起業を決意し、2019年5月に同社を設立した (<https://www.workshop-lab.com/>)。

私の想いを事業化するにはどうしたらいいか、親身になって相談に乗っていただけました

そこにいらした中小企業診断士の方に「子育て中の方など生きにくさを感じている人が行きやすい(生きやすい)『学びの場』を作りたいのですが、どうしたらいいですか」と、いま思えば漠然とした想いをまずそのままお伝えしたのですが、やさしく丁寧に対応してくださりました。私の想いを事業化するにはどうしていけばいいのかなど、親身になって相談に乗っていただけました。

そのなかで、やはり会社を設立したほうが事業の発展性が見込めるなど具体的な貴重なアドバイスをいくつかいただき、とても有難かったです。定款づくりでも多くの助言をいただきました。

しかも、会社設立の手続きもワンストップセンターだけで済む。このセンターの存在を知らなければ、まだ会社設立に至っていなかったでしょうね。本当に感謝しています。



私からのワンポイントアドバイス

わからないこと、疑問に感じたことは何でもどんどん相談すべきです。それぞれの専門家の方がきちんと回答してくださるので安心ですし、助かりました。利用者としてまったくストレスを感じませんでしたね。とにかくおススメです！

相談体験会を随時開催しています。参加者募集中！ **誰でも無料でご利用いただけます！**

【東京開業ワンストップセンター】

住所：東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル 日本貿易振興機構(ジェトロ)本部7階

電話：03-3582-8352 FAX：03-5561-4123

URL：<http://www.senryaku.metro.tokyo.jp/onestop/japanese/top/>